

2023年度

学生募集要項



**SHINSHU
UNIVERSITY**

信州大学大学院

総合人文社会科学研究科（修士課程）

総合人文社会科学専攻

新型コロナウイルス感染症の影響により本要項の記載内容を変更せざるを得ない状況となった場合は、ホームページでお知らせしますので、必ず最新の情報を確認してください。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/humanitiesandsocialsciences/admission/>

信州大学大学院総合人文社会科学研究科

学生募集要項 目次

I. インターネット出願について	2
II. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	3
1. 信州大学大学院入学者受入方針	3
2. 信州大学大学院総合人文社会科学研究科入学者受入方針	3
3. 各分野の入学者受入方針	3
III. 総合人文社会科学研究科募集要項	6
1. 募集人員	6
2. 出願資格	6
3. 入学資格審査	8
4. 出願手続	9
5. 実施日程及び選抜方法	15
6. 合格者の発表	20
7. 入学手続及び納付金	21
8. 障害等のある方の事前相談	22
9. 入試情報の開示	23
10. その他	24

個人情報の利用

信州大学における入学者選抜を通じて取得した個人情報については、入学者選抜のほか、次の目的のために利用します。

- ①入学手続
- ②学籍管理
- ③学習指導
- ④学生支援関係業務
- ⑤入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

この「学生募集要項」は必ず印刷し、熟読してください。

I. インターネット出願について

信州大学では、インターネットを利用した出願方法を導入しています。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/grad/admission/01.php>

(本学ホームページ／大学院サイト／入試情報／大学院インターネット出願)

インターネット出願登録サイトでは、出願登録のほか、受験票の印刷、受験者心得などの案内の連絡も行います。

登録後にアクセスする必要がありますので、IDとパスワードを記録しておいてください。

■出願から試験当日までの流れ

① 学生募集要項の確認

学生募集要項（PDF）を、本研究科ホームページからダウンロード・印刷し、よく読んだうえで出願登録を行ってください。

② 出願情報の登録

インターネット出願登録サイトへはパソコンやスマートフォン等からアクセスし、画面の指示に従い入力してください。出願期間の1週間前から事前登録が可能です。

③ 出願情報の確認

インターネット出願登録サイトから「出願確認票（本人控え）」を印刷し、登録内容に誤りがないことを確認してください。

④ 顔写真のアップロード

インターネット出願登録サイトにスマートフォンやデジタルカメラ等で撮影した顔写真をアップロードしてください。

⑤ 入学検定料の支払い

コンビニエンスストア、クレジットカード、銀行ATM（Pay-easyでの支払い）、ネットバンキングのいずれかで支払いが可能です。

⑥ 「出願確認票（大学提出用）」の印刷

インターネット出願登録サイトから「出願確認票（大学提出用）」を印刷してください。

⑦ 出願書類の提出

⑥で印刷した「出願確認票（大学提出用）」とその他募集要項で指定する出願書類を出願期間内に本学へ提出（郵送）してください。

⑧ 「受験票」と「受験者心得」の印刷

「受験番号お知らせメール」を受信後、出願登録サイトから「受験票」を印刷してください。

また、このメールに記載のURLから＜受験者心得＞にアクセスし、該当する研究科分野の注意事項を印刷・熟読してください。

「受験者心得」には、当日の集合（入室）時刻、注意事項など受験に必要な情報を記載します。必ず印刷し、試験当日に受験票とともに持参してください。

Ⅱ. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 信州大学大学院入学者受入方針

信州大学大学院は、以下のような能力や意欲を備えた人たちを積極的に受け入れます。

- ・幅広い教養と専攻する分野の専門知識を持ち、さらに高度な専門的知識・専門応用能力を修得したい人
- ・知的好奇心が旺盛で、専門的課題や地域社会の抱える課題に主体的に取り組む人
- ・深い知性、論理的な思考力、豊かな人間性を備え、様々な分野でリーダーシップを発揮し、活躍したい人
- ・社会・環境・国際問題に関心をもち、創造力を活かし、グローバルに活躍したい人
- ・職業経験から獲得した知識・技能を高度化、深化させたい人

2. 信州大学大学院総合人文社会科学研究科入学者受入方針

総合人文社会科学研究科（総合人文社会科学専攻）では、真理を探究する確かな基礎研究と実証に基づく高度実践研究との融合知の蓄積、地域を活かす学びの環境を基盤にして、独創的な提案力を持ち、問題解決に向けた課題の整理、課題解決のための計画・実行力を持った地域中核人材の輩出を目指しています。そのため、次のような資質・能力を備えている学生を求めています。

1. 知識・技能

- ・専門領域の基本的な専門的知識・技能を有している者

2. 能力

- ・情報の収集・分析を通じた研究を行うために必要な考察力・思考力を有し、問題関心・課題や分析内容を平易かつ的確に表現することができる者

3. 意欲

- ・学問研究に対する強い意欲を有している者
- ・社会が抱える課題の解決に取り組む意欲を有している者

上記の素養を持つ大学院生を選抜するために、一般選抜では各専門領域に必要な専門試験を課すとともに、面接では必要な知識と基礎学力に加え、学問研究や社会の課題解決への意欲を判定します。また成績証明書・研究計画書などの評価を加えて総合的に可否を判定します。

3. 各分野の入学者受入方針

（1）人間文化学分野の入学者受入方針

人間文化学分野では、現実の社会に働きかける、のびやかで生き生きとした知の力である「実践知」を基盤として、高度な論理的思考と科学的分析によって、複雑で多様な諸問題の根元を解明し、創造的な指針を得る「知の方法」に展開させることを目標にしています。「知の方法」を得た人物は、あらゆる科学や応用技術を支えるもっとも基本的かつ実践的基盤である、柔軟な認識能力・多角

的分析能力・豊かな表現能力を身につけることとなりますので、進学先・就職先その他社会生活においても、それを活かして活躍していくことが期待されます。

上記の目標を達成するため、本分野の学生には、以下の能力や意欲が素養として要求されます。

1. 知識・技能

- ・専攻する専門領域の基礎学力

2. 能力

- ・文章などを的確に理解し、それに基づいて判断でき表現できる能力およびプレゼンテーション能力

3. 意欲

- ・学問研究に対する強い意欲
- ・社会が抱える課題の解決に、人間文化的アプローチから取り組む意欲を有している者

本分野では、上記の素養を持つ大学院生を選抜するために、一般選抜・前期日程試験では、1・2に対して各専門領域に必要な外国語文献・資料などを含む専門試験を課すとともに、面接試問では3を中心にして、必要な知識と基礎学力を判定します。また成績証明書などを加えて総合的に合否を判定します。一般選抜・後期日程試験では、1・2に対して研究計画書、課題作文の提出を課すとともに、口述試問では3を中心にして、必要な知識と基礎学力を判定します。また成績証明書などを加えて総合的に合否を判定します。

前期日程試験社会人特別選抜及び私費外国人留学生試験では、1・2に対して小論文を課すとともに、面接試問で3を中心にして必要な知識と基礎学力を判定します。また成績証明書・研究計画書・自己申告書などを加えて総合的に合否を判定します。

後期日程社会人特別選抜及び私費外国人留学生試験では、1・2に対して研究計画書、課題作文の提出を課すとともに、口述試問では3を中心にして、必要な知識（私費外国人留学生試験では日本語能力を含む）と基礎学力を判定します。また成績証明書・研究計画書などを加えて総合的に合否を判定します。

（２）心理学分野の入学受入方針

総合人文社会科学研究科（総合人文社会科学専攻）心理学分野では、真理を探究する確かな基礎研究と実証に基づく高度実践研究との融合知の蓄積、地域を活かす学びの環境を基盤にして、独創的な提案力を持ち、問題解決に向けた課題の整理、課題解決のための計画・実行力を持った地域中核人材の輩出を目指しています。そのため、次のような資質・能力を備えている学生を求めています。

1. 知識・技能

- ・心理学及びその関連領域の基本的な専門的知識・技能を有している者

2. 能力

- ・情報の収集・分析を通じた研究を行うために必要な考察力・思考力を有し、問題関心・課題や分析内容を平易かつ的確に表現することができる者

3. 意欲

- ・心理学研究に対する強い意欲を有している者
- ・社会が抱える課題の解決に、心理学的アプローチから取り組む意欲を有している者

4. 臨床心理学コース

- ・1～3に加えて、人々の心の健康の保持増進に取り組む意欲を有している者

上記の素養を持つ大学院生を選抜するために、一般選抜では心理学及びその関連領域に必要な専門試験を課すとともに、面接では必要な知識と基礎学力に加え、学問研究や社会の課題解決への意欲を判定します。さらに、これに加えて臨床心理学コースでは、人々の心の健康の保持増進への意欲を判定します。最終的に、成績証明書・研究計画書などの評価を加えて総合的に合否を判定します。

(3) 経済学分野の入学受入方針

経済学分野では、信州大学大学院総合人文社会科学研究科入学受入の方針に基づき、次のような資質・能力を備えている学生を求めています。

1. 知識・技能

- ・経済学の基本的な専門的知識・技能を有している者

2. 能力

- ・経済学に必要な統計学の基礎的手法における考察力・思考力を有している者

3. 意欲

- ・経済学の学問研究に対する強い意欲を有している者
- ・社会が抱える課題の解決に取り組む意欲、旺盛な知的好奇心とリーダーシップをとるのに相応しいコミュニケーション能力を有している者

上記の素養を持つ大学院生を選抜するため、一般選抜では経済学に必要な基礎知識及び統計手法に関する専門試験を課すとともに、面接では必要な知識と基礎学力に加え、学問研究や社会の課題解決への意欲を判定します。また成績証明書・研究計画書などの評価を加えて総合的に合否を判定します。

(4) 法学分野の入学受入方針

法学分野では、信州大学大学院総合人文社会科学研究科入学受入の方針に基づき、次のような資質・能力を備えている学生を求めています。

1. 知識・技能

- ・法学領域の基本的な専門的知識と法律的な考え方を身につけている者

2. 能力

- ・情報の収集・分析を通じた研究を行うために必要な考察力・思考力を有し、問題関心・課題や分析内容を、法律的な考え方に基づいて、平易かつ的確に表現することができる者

3. 意欲

- ・法学領域の学問研究に対する強い意欲を有している者
- ・社会が抱える法学的課題の解決に取り組む意欲を有している者

上記の素養を持つ大学院生を選抜するために、一般選抜では法律学の専門領域に必要な基礎知識や法律的な考え方に関する専門試験を課すとともに、面接では必要な知識と基礎学力に加え、学問研究や社会の課題解決への意欲を判定します。また成績証明書・研究計画書などの評価を加えて総合的に合否を判定します。

Ⅲ. 総合人文社会科学部募集要項

1. 募集人員

分野	専門領域	選抜区分	募集人員
人間文化学分野	哲学・思想論，社会学，文化情報論，日本史，東洋史，西洋史，日本文学，日本語学，日本語教育学，中国語学・中国文学，比較文学，ドイツ語学・ドイツ文学，フランス語学・フランス文学，英語学，英語文学，芸術コミュニケーション	一般選抜	8人
		私費外国人留学生試験	
		社会人特別選抜	
心理学分野 〔松本キャンパス〕	実験心理学，社会心理学	一般選抜	2人
		私費外国人留学生試験	
		社会人特別選抜	
心理学分野 〔長野（教育）キャンパス〕	発達科学・認知科学・人間科学	一般選抜	2人
		社会人特別選抜	
	臨床心理学コース	一般選抜	10人
経済学分野		一般選抜	7人
		社会人特別選抜 (後期日程のみ)	
法学分野		一般選抜	7人
		社会人特別選抜 (後期日程のみ)	
計			36人

2. 出願資格

(1) 一般選抜・私費外国人留学生試験

下表の1～13のいずれかの資格を満たす方

出願資格	出願資格等の詳細説明
1	大学（修業年限4年以上）を卒業した方又は2023年3月までに卒業見込みの方
2	学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された方又は2023年3月までに学士の学位を授与される見込みの方
3	外国において，学校教育における16年の課程を修了した方又は2023年3月までに修了見込みの方

4	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方又は2023年3月までに修了見込みの方
5-1	我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は2023年3月までに修了見込みの方
5-2	外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって5-1の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された方又は2023年3月までに授与される見込みの方
6	専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方又は2023年3月までに修了見込みの方
7	文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
8	学校教育法第102条第2項の規定により本研究科以外の大学院に入学した方で、本研究科において、教育を受けるにふさわしい学力があると認められる方
9	本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方で、2023年3月31日までに22歳に達する方
10	2023年3月までに大学に3年以上在学し、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認められる方
11	外国において学校教育における15年の課程を修了した方又は2023年3月までに修了見込みの方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認められる方
12	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した方又は2023年3月までに修了見込みの方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認められる方
13	我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は2023年3月までに修了見込みの方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認められる方

※ 私費外国人留学生試験出願資格者は、上記に加え、外国国籍を持ち、在留資格「留学」を有しているか、入学時に「留学」を取得見込みの方。

※ 海外の教育施設を修了し、出願を希望する場合は、なるべく事前に出願資格について各分野にご相談ください。

(2) 社会人特別選抜

※ 人間文化学分野，心理学分野〔松本キャンパス〕，心理学分野〔長野（教育）キャンパス〕（発達科学・認知科学・人間科学），経済学分野（後期日程），法学分野（後期日程）のみ実施

- ① 2023年4月1日現在満25歳以上の方
- ② 2023年4月1日現在満25歳未満であるが，出願時に定職についている方
上記のいずれかに該当し，かつ下表の1～6の各号のいずれかの資格を満たす方

出願資格	出願資格等の詳細説明
1	大学（修業年限4年以上）を卒業した方
2	学校教育法第104条第7項の規定により，学士の学位を授与された方又は2023年3月までに学士の学位を授与される見込みの方
3	外国において学校教育における16年の課程を修了した方
4	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方
5	文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
6	本研究科において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した方と同等以上の学力があると認められた方で，2023年3月31日までに22歳に達する方

3. 入学資格審査

「2. 出願資格（1）の8～13又は（2）の6」により出願しようとする方は，以下に定める書類に基づき入学資格審査を行います。

(1) 申請書類受付

① 受付期間

前期日程	2022年8月18日（木）～8月24日（水）（17時までに必着）
後期日程	2022年12月12日（月）～12月16日（金）（17時までに必着）

- ② 郵送する場合は，「簡易書留郵便」（海外からはEMS等）とし，封筒の表に「大学院入学資格審査申請書類在中」と朱書きしてください。
- ③ 提出先：「4. 出願手続（3）書類提出先」へ提出してください。

(2) 申請書類

	書類等	摘要
1	入学資格審査申請書	本研究科ホームページ掲載の所定の様式をダウンロードし，必要事項を記入してください。
2	成績証明書	最終学校等の学校長が作成し，厳封したものを提出してください。英語以外の外国語の証明書には，日本語訳を添付してください。
3	卒業（見込）証明書	

(注) その他、申請書に添付書類が必要となる分野もあるため、申請前に確認してください。

(3) 入学資格審査結果の通知

審査結果は、前期：2022年9月5日(月)、後期：2023年1月13日(金)までに申請時のメールアドレス宛にメールします。

- ※ 上記期限内に審査結果が届かない場合には速やかに提出先(「4・出願手続(3)書類提出」)へ電話連絡をしてください。
- ※ 迷惑メール対策などでドメイン指定受信の設定をされている場合、必ず次のドメイン指定受信の設定を行ってください。「@shinshu-u.ac.jp」
- ※ 迷惑メールフォルダに振り分けられているケースがあります。お問い合わせの前に一度、ご確認をお願いします。

4. 出願手続

(1) 出願期間

① 前期日程

分野	期間
人間文化学分野	2022年9月7日(水)～9月13日(火)17時(必着)
心理学分野 〔松本キャンパス〕	
心理学分野 〔長野(教育)キャンパス〕	
経済学分野	
法学分野	

② 後期日程

分野	期間
人間文化学分野	2023年1月16日(月)～1月20日(金)17時(必着)
心理学分野 〔松本キャンパス〕	
心理学分野 〔長野(教育)キャンパス〕	
経済学分野	
法学分野	

- ※ インターネット出願登録サイトへの事前登録及び入学検定料の支払いは
前期：2022年8月31日(水)、後期：2023年1月9日(月)から可能です。
- ※ 必要書類等の提出は原則郵送とし、出願期間最終日17時(日本時間)までに必着とします。

(2) 出願方法

以下の①から③までの手続きを行ってください。

① インターネットによる出願情報の登録（写真のアップロードを含む。）

② 入学検定料の支払い

a 検定料 30,000円

（注）入学検定料の他に、別途必要な支払手数料は志願者負担となります。

b 支払期間【全分野】

前期日程	2022年8月31日（水）～9月13日（火）
後期日程	2023年1月9日（月）～1月20日（金）

c 支払方法 下記のいずれかで入学検定料の支払いが可能です。

コンビニエンスストア、銀行ATM（Pay-easyでの支払い）、ネットバンキング、クレジットカード（VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club）

（注）・銀行窓口での支払いはできません。

・コンビニエンスストアに設置されているATMでの支払いはできません。

・コンビニエンスストアでの支払いは現金のみです。電子マネーやクレジットカードは利用できません。

③ 必要書類等の提出（郵送）

「(4) 出願書類等」を参照して必要書類を揃え、「(3) 書類提出先」へ出願期間内に原則郵送で提出してください。

※ 市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に入れ、その封筒にインターネット出願登録サイトから印刷した「宛名ラベル」を貼り、簡易書留速達郵便（日本国外からはEMS等）で郵送してください。出願期間最終日17時までに到着したものを受け付けます。

※ インターネット出願登録サイトへの登録だけでは、出願は完了しません。出願期間内に必要書類を郵送することで完了します。

(3) 書類提出先及び問い合わせ先

分野名	提出先及び問い合わせ先
人間文化学分野	信州大学大学院総合人文社会科学研究科 人間文化学分野入試事務室（信州大学人文学部内） 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 電話 0263-37-2255 E-Mail: jgakumu1@shinshu-u.ac.jp
心理学分野 〔松本キャンパス〕	信州大学大学院総合人文社会科学研究科 心理学分野（松本キャンパス）入試事務室 （信州大学人文学部内） 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 電話 0263-37-2255 E-Mail: jgakumu1@shinshu-u.ac.jp

分野名	提出先及び問い合わせ先
心理学分野 〔長野（教育） キャンパス〕	信州大学大学院総合人文社会科学研究科 心理学分野（長野（教育）キャンパス）入試事務室 （信州大学教育学部内） 〒380-8544 長野市西長野6の口 電話 026-238-4041 E-Mail: edu-ad@shinshu-u.ac.jp
経済学分野	信州大学大学院総合人文社会科学研究科 経済学分野入試事務室（信州大学経法学部内） 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 電話 0263-37-2304 E-Mail: graduate_law_econ@shinshu-u.ac.jp
法学分野	信州大学大学院総合人文社会科学研究科 法学分野入試事務室（信州大学経法学部内） 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 電話 0263-37-2304 E-Mail: graduate_law_econ@shinshu-u.ac.jp

(4) 出願書類等

入学志願者は、次の書類等を取り揃えて出願期間内に提出してください。

(①, ②は全分野共通書類)

① インターネット出願登録後、申込み確認ページから印刷する書類等

※印字されている内容に誤りがないか、必ず確認してください。

書類等	摘要
1 出願確認票 (大学提出用)	A4サイズ of 用紙に印刷してください (白黒印刷可)。
2 宛名ラベル	印刷したものを市販の角形2号封筒 (240mm×332mm) に貼り付け、必要書類を入れて郵送してください。

② インターネット出願登録サイトでアップロードが必要なもの (郵送による提出不要)

書類等	摘要
3 写真	インターネット出願登録後、登録完了メールに記載されているリンク先から、志願者本人の写真 (出願3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向き、背景なしのもの) のアップロードを行ってください。

③ 志願者が準備する書類等

分野ごとに提出する書類が異なります。備考欄に従って提出してください。

人：人間文化学分野

実社：心理学分野〔松本キャンパス〕実験心理学領域、社会心理学領域

発：心理学分野〔長野（教育）キャンパス〕発達科学・認知科学・人間科学領域

臨：心理学分野〔長野（教育）キャンパス〕臨床心理学コース

経：経済学分野

法：法学分野

書類等	摘要	備考					
		人	実社	発	臨	経	法
4 成績証明書	<p>最終出身学校の長等が作成し、厳封したものを提出してください。</p> <p>ただし、厳封を必要としない「すかし」「浮き出し文字」等の不正防止処理が施された用紙を使用した証明書の場合は、厳封は不要です。</p> <p>在学時の履修状況が示されていることが必要です。</p> <p>なお、大学院を修了した方又は修了見込みの方は、大学と大学院の成績証明書を提出してください。</p> <p>英語以外の外国語の証明書には日本語訳を添付してください。</p>	○	○	○	○	○	○
5 卒業証明書又は卒業見込証明書	<p>最終出身学校の長が作成した卒業（見込）証明書又はこれに代わるものを提出してください。</p> <p>入学資格審査で合格された方は本大学院の入学資格審査の結果通知書のコピーを提出してください。</p> <p>英語以外の外国語の証明書には日本語訳を添付してください。</p>	○	○	○	○	○	○
6 課題等	<p>16ページからの「5. 実施日程及び選抜方法」の「(2) 選抜方法」を参照し、指示に従って課題等を作成し、その他の出願書類と同封し提出してください。（後期日程志願者のみ。）</p>	○	○				
7 日本語能力試験又は日本留学試験成績通知書	<p>過去に日本語能力試験又は日本留学試験を受験した方は日本語能力試験（N1）又は日本留学試験（日本語）の成績通知書のコピーを提出してください。</p> <p>なお、受験していない方が不利益となることはありません。</p>	外国人志願者のみ提出してください。					
8 「住民票の写し」又は「パスポート」のコピー	<p>現に日本国に居住し、かつ、「在留カード」又は「外国人登録証明書」をお持ちの方は、「住民票の写し」（居住している市町村長が発行するもの）を提出してください。</p> <p>それ以外の方は、「パスポート」のコピー（氏名、国籍、生年月日、性別が記載された部分及び日本国証の部分）を提出してください。</p>	外国人志願者のみ提出してください。					

（注）改姓により証明書等との氏名が異なる場合は、改姓後の「戸籍抄本」を提出してください。

- ④ 本研究科のホームページからダウンロードして提出する書類
 (<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/humanitiesandsocialsciences/admission/>)

「※」は本研究科（各分野）の独自様式を示す。

書類等	摘要	備考				
		人	実社	発	臨	経法
9 研究計画書 ※	卒業論文等従来の研究主題とその概略及び入学後の研究計画を記入してください(2,000字程度)。	○	○			
10 受験承諾書 ※	<p>【一般選抜】</p> <p>官公庁、会社等に在職中の方は、可能な限り、その長又は代表者の承諾書を提出してください。</p> <p>【社会人特別選抜】</p> <p>勤務先に在職のまま在学することを希望される方は、勤務先の代表者の受験承諾書を提出してください。</p>	○	○			
11 口述試験用調書 ※	<p>必要事項を記入してください。</p> <p>各項目について字数の制限はありません。</p>			○	○	
12 研究計画書 ※ 又は 研究計画書 (社会人) ※	<p>経済学分野所定の様式に従い作成してください。</p> <p>社会人で、「一般選抜」を希望する方は「研究計画書」に代えて「研究計画書(社会人)」のフォーマットを用いて作成することも可能です。この場合「4 文章化された業績」欄には、以下に掲げるものを記入してください。</p> <p>ア. 仕事上の業績リスト(業績の有形無形は問いません。)</p> <p>イ. 所属する組織において志願者が作成した調査報告、経営分析等に関する著書、論文、記事等。共著の場合は志願者の役割、分担箇所等を明記してください。</p> <p>ウ. 著書、論文、記事等。共著の場合は志願者の役割、分担箇所等を明記してください。</p> <p>エ. その他、志願者の能力・適性を審査するのに役立つと考えられる資料</p> <p>「3 仕事上の業績」及び「4 文章化された業績」に準ずるものがあれば、別途その内容紹介を兼ねたリスト(任意のA4用紙、右上に氏名を明記)を添付してください。</p> <p>大学在学時に学習・研究に関連して特筆すべき成果があるときは、それを証明する資料等があれば添付してください。</p> <p>なお、「社会人特別選抜」(後期日程のみ実施)を希望する社会人は、「研究計画書」と「研究計画書(社会人)」の両方を提出してください。とりわけ、「研究計画書」には「研究計画書(社会人)」で記述した「4 文章化された業績」からどのような着想を得て、それがどのような社会的・業務上の課題解決につながるのかを明瞭に記述してください。</p>					○

書類等	摘要	備考					
		人	実社	発	臨	経	法
13 参考資料	「研究計画書（社会人）」の「4 文章化された業績」に記載した場合には、重要と考えられるものすべてのコピーとその要約（各1,200字程度）を添付してください。					○	
14 研究計画書 ※	法学分野所定の様式に従い作成してください。						○
15 自己申告書 ※	法学分野所定の様式に従い作成してください。						○
16 参考資料	税理士試験における税法科目の免除を受けるために税法に関する修士論文を執筆することを希望される方は、税理士試験を受験したことがあればその結果通知書のコピー、その他にも税理士となるための能力・適正を評価するのに役立つ資料があればその資料を添付してください。						○
17 推薦書 ※	組織から派遣される社会人志願者は、本研究科所定の様式により志願者の所属する組織の長または所属部局等の長が作成したものを厳封して提出してください。 上記以外の志願者は、推薦書を提出する必要はありません。					○	○

社会人特別選拔出願者は上記（9～17）以外に次の書類を提出してください。

書類等	摘要	備考					
		人	実社	発	臨	経	法
18 自己申告書 ※	出願者の能力、適性を審査するのに役立つと考えられる資料等のリストを記入してください。	○	○	○			
19 在職証明書	出願資格（2）社会人特別選抜②の方のみ提出してください。	○	○	○		○	

（5）出願に際しての注意事項

- ① 出願書類等に不備があるものは、受理しません。
- ② 出願手続後の書類の変更は、認めません。
- ③ 受理した出願書類は、どのような理由があってもお返しできません。
- ④ 支払済みの入学検定料は、出願書類を受理した後はお返しできません。

なお、入学検定料を誤って二重に支払った場合又は支払ったが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合は、本人の請求により支払われた入学検定料（二重に振り込んだ場合は重複して支払われた分）の返還が可能です。返還手続については、本学のホームページ（入試情報ポータル／入学検定料返還手続）をご覧ください。（https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/return/index.html）

- ⑤ 出願書類に虚偽の記載があった場合は、合格を取り消します。
- ⑥ 出願後、受信場所（志願者連絡先）を変更した場合は、直ちに出席した分野の入試事務室に届け出てください。

(6) 受験票

① 受験票の発行

受験票は、受験番号確定後にインターネット出願登録サイトからダウンロードできます。システム上で登録された電子メールアドレスへ受験番号お知らせメールを送信しますので、必ず確認のうえ印刷してください。(白黒印刷可)

なお、印刷した受験票は、試験当日に必ず持参してください。

※ 受験番号お知らせメールに記載のURLから 〈受験者心得〉にアクセスし、各分野の注意事項を印刷・熟読のうえ、試験当日に受験票とともに持参してください。

※ 受験番号お知らせメールが試験日の1週間前になっても届かない場合は、各分野の入試事務室に問い合わせてください。

② 受験票の保管

受験票は入学手続や入試情報開示請求に必要となりますので、大切に保管してください。

5. 実施日程及び選抜方法

(1) 期日及び時間

① 前期日程：2022年10月2日（日）

分野	時間	試験場
人間文化学分野	専門試験・小論文 9:30~11:30 面接試験 13:30~	信州大学 人文学部 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1
心理学分野 〔松本キャンパス〕	専門試験・小論文 9:30~11:30 面接試験 13:30~	信州大学 人文学部 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1
心理学分野 〔長野（教育） キャンパス〕	筆記試験 10:00~12:00 口述試験 13:00~	信州大学 教育学部 〒380-8544 長野市西長野6の口
経済学分野	筆記試験 10:00~11:30 口述試験 指定された時間	信州大学 経法学部 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1
法学分野	筆記試験 10:00~11:30 口述試験 指定された時間	信州大学 経法学部 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1

② 後期日程：2023年2月4日（土）

分野	時間	試験場
人間文化学分野	課題作文 出願時 口述試験 14:00~	信州大学 人文学部 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1
心理学分野 〔松本キャンパス〕	課題作文 出願時 口述試験 14:00~	信州大学 人文学部 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1

分野	時間	試験場
心理学分野 〔長野（教育） キャンパス〕	筆記試験 10：00～12：00 口述試験 13：00～	信州大学 教育学部 〒380-8544 長野市西長野6の口
経済学分野	筆記試験 10：00～11：30 口述試験 指定された時間	信州大学 経法学部 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1
法学分野	筆記試験 10：00～11：30 口述試験 指定された時間	信州大学 経法学部 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1

(2) 選抜方法

① 人間文化学分野

学力試験及び面接試験の結果並びに提出書類の記載事項等を総合して判定します。

前期日程

(ア) 一般選抜（専門試験＋面接試験）

志願者は下記の専門試験詳細から出願時に、研究計画に関わる1専門領域を選択します。

専門試験詳細

分野	専門領域	備考
人間文化学分野	哲学・思想論	問題には出願時に選択した外国語（英語／フランス語／ドイツ語／古典中国語から一つ）を含む。
	社会学	問題には英語を含む。
	文化情報論	問題には英語を含む。
	日本史	問題には史料読解を含む。
	東洋史	問題には英語・中国語などを含む。
	西洋史	問題には英語・フランス語などを含む。
	日本文学	問題には資料読解を含む。
	日本語学	問題には資料読解を含む。
	日本語教育学	問題には資料読解を含む。
	中国語学・中国文学	問題には中国語を含む。
	比較文学	問題には英語および、出願時に選択した外国語（古典ギリシア語／ラテン語／フランス語から一つ）を含む。なお上記の言語すべてについて、希望者には試験場で辞書を貸与する。
	ドイツ語学・ドイツ文学	問題にはドイツ語を含む。
フランス語学・フランス文学	問題にはフランス語を含む。	

分野	専門領域	備考
	英語学	問題には英語を含む。
	英語文学	問題には英語を含む。
	芸術コミュニケーション	問題には英語を含む。

(イ) 社会人特別選抜・私費外国人留学生試験（小論文＋面接試問）

社会人特別選抜及び私費外国人留学生試験志願者については、小論文試験を行います。

後期日程

一般選抜・社会人特別選抜・私費外国人留学生試験（課題作文＋口述試問）

一般選抜・社会人特別選抜・私費外国人留学生試験のいずれの志願者にも、出願時に課題作文の提出が課されます。提出された課題作文に基づき口述試問を行います。

課題作文の課題は以下の通りです。

「現代における人文学研究の意義を視野に入れて、あなたが専攻する領域と研究したいテーマを自由に論じなさい」

使用言語は日本語とし、2,000字程度にまとめること。パソコンなどで作成し、A4用紙に印刷し、その他の出願書類と同封し提出してください。

人文科学研究科及び人間文化学分野の過去の試験問題をご覧になりたい方は、信州大学大学院総合人文社会科学研究科人間文化学分野（信州大学人文学部内）入試事務室にお問い合わせください。

② 心理学分野〔松本キャンパス〕

学力試験及び面接試問の結果並びに提出書類の記載事項等を総合して判定します。

前期日程

(ア) 一般選抜（専門試験＋面接試問）

志願者は下記の専門試験詳細から出願時に、研究計画に関わる1専門領域を選択します。

専門試験詳細

分野	専門領域	備考
心理学分野〔松本キャンパス〕	実験心理学	問題には英語を含む。
	社会心理学	問題には英語を含む。

(イ) 社会人特別選抜・私費外国人留学生試験（小論文＋面接試問）

社会人特別選抜及び私費外国人留学生試験志願者については、小論文試験を行います。

後期日程

一般選抜・社会人特別選抜・私費外国人留学生試験（課題作文＋口述試問）

一般選抜・社会人特別選抜・私費外国人留学生試験のいずれの志願者にも、出願時に課題作文の提出が課されます。提出された課題作文に基づき口述試験を行います。

課題作文の課題は以下の通りです。

「現代における心理学研究の意義を視野に入れて、あなたが専攻する領域と研究したいテーマを自由に論じなさい」

使用言語は日本語とし、2,000字程度にまとめること。パソコンなどで作成し、A4用紙に印刷し、その他の出願書類と同封し提出してください。

人文科学研究科及び総合人文社会科学研究科心理学分野〔松本キャンパス〕の過去の試験問題をご覧になりたい方は、信州大学大学院総合人文社会科学研究科心理学分野〔松本キャンパス〕入試事務室（信州大学人文学部内）にお問い合わせください。

③ 心理学分野〔長野（教育）キャンパス〕

筆記試験、口述試験を行い、その成績と出願書類の内容を総合して判定します。筆記試験では心理学及びその関連領域の専門的知識を評価します。発達科学・認知科学・人間科学領域で使用する筆記試験の問題は一般選抜と社会人特別選抜で共通します。臨床心理学コースでは英語の問題を含みません。口述試験では、事前に提出された「口述試験用調書」等により、入学後の研究計画の具体性と研究意欲を評価します。

(ア) 一般選抜（前期日程・後期日程）

発達科学・認知科学・人間科学領域

試験等の概要

	試験内容	配点	備考
筆記試験	心理学及びその関連領域の専門的知識	200	
口述試験	口述試験用調書に基づいて行います。	100	
合計（総合点）		300	

臨床心理学コース

試験等の概要

	試験内容	配点	備考
筆記試験	心理学及びその関連領域の専門的知識	200	英語による問題を含みません （辞書の持込不可）
口述試験	口述試験用調書に基づいて行います。	100	
合計（総合点）		300	

(イ) 社会人特別選抜（前期日程・後期日程）

発達科学・認知科学・人間科学領域

試験等の概要

	試験内容	配点	備考
筆記試験	心理学及びその関連領域の専門的知識	200	
口述試験	口述試験用調書及び自己申告書に基づいて行います。	100	
合計（総合点）		300	

④ 経済学分野

入学者の選抜は、前期日程、後期日程ともに、書類審査、筆記試験、口述試験の結果を総合して行います。

(ア) 一般選抜（前期日程・後期日程）

試験等の概要

	試験内容	備考
筆記試験	学部レベルのミクロ経済学、マクロ経済学、統計学の基礎知識	
口述試験	経済学に必要な基礎知識及び統計手法に関する必要な知識と基礎学力の確認に加え、学問研究や社会の課題解決への意欲の評価	

(イ) 社会人特別選抜（後期日程のみ実施）

試験等の概要

	試験内容	備考
筆記試験	ミクロ経済学とマクロ経済学の入門レベルの問題	
口述試験	経済学に必要な基礎知識及び統計手法に関する必要な知識と基礎学力の確認、業務と当研究科での研究の関連、学問研究や社会・業務の課題解決への意欲の評価	

⑤ 法学分野

入学者の選抜は、書類審査、筆記試験及び口述試験の結果を総合して行います。筆記試験の科目は公法刑事法と民事法から選択することができます。公法刑事法は憲法又は刑法から、民事法は民法から出題されます。受験者の皆様には、試験開始後に一科目を選択した上で解答して頂きます。

口述試験では学問研究や社会の課題解決に向けた意欲についての評価を行います。書類審査、筆記試験及び口述試験の結果を総合して、本分野の履修に適する能力を有するか否かの判定を行います。志願者別の試験開始時間等については、出願受付後に電子メールでお知らせします。

また、選抜方法には一般選抜と社会人特別選抜の二つの方式があります。二つの選抜方法は、書類審査、筆記試験及び口述試験の各項目のウエイトに違いがあり、使用する筆記試験の問題は共通します。

社会人特別選抜は書類審査と口述試験の評価にウエイトを置いた選抜方式となります。出願時において既に大学を卒業されている方は、「社会人」として、一般選抜と社会人特別選抜の何れでも自由に選択して出願することができます（在職証明書等は不要）。

各選抜方法における比重は下記の表の通りです。

(ア) 一般選抜（前期日程・後期日程）

試験等の概要

	試験内容	配点	備考
書類審査		80	
筆記試験	公法刑事法と民事法から選択することができます。公法刑事法は憲法又は刑法から、民事法は民法から出題されます。	140	
口述試験	学問研究や社会の課題解決に向けた意欲についての評価を行います。	80	
合計（総合点）		300	

(イ) 社会人特別選抜（後期日程のみ実施）

試験等の概要

	試験内容	配点	備考
書類審査		120	
筆記試験	公法刑事法と民事法から選択することができます。公法刑事法は憲法又は刑法から、民事法は民法から出題されます。	60	
口述試験	学問研究や社会の課題解決に向けた意欲についての評価を行います。	120	
合計（総合点）		300	

※ 法学分野における研究指導体制についての情報提供について

研究対象とする法分野によっては、その法分野を専門とする教員がいなかったり、既に多数の大学院生の指導を引受けているといった事情により、合格してもその法分野を専門とする教員による研究指導を受けることが困難な場合もあります。入学試験に合格した場合の特定の法分野に関する研究指導の可能性について出願前に情報を得たい方は、法学分野入試事務室までご相談ください。その際、予定している研究題目についてもお知らせください。お問い合わせのあった時点での見込みとなりますが、可能な範囲で情報提供を行います。

6. 合格者の発表

(1) 日時

前期日程	2022年 10月 14日（金） 15時
後期日程	2023年 2月 10日（金） 15時

(2) 合格通知

同日中に合格者には合格通知書等を発送します。(不合格の方には通知しません。)

また、本研究科ホームページにも合格者の受験番号を掲載しますが、必ず合格通知書等を確認してください。

(<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/humanitiesandsocialsciences/admission/>)

なお、電話や電子メール等による可否の問い合わせには、応じられません。

7. 入学手続及び納付金

(1) 入学手続

合格者は、入学手続期間内に銀行振込により入学料を納入するとともに、原則として「書留速達郵便」により必要な書類を提出してください。詳細については、合格通知書に同封しお知らせします。

① 入学手続期間

前期日程	2023年1月23日(月)～1月27日(金)(必着)
後期日程	2023年2月14日(火)～2月20日(月)(必着)

期間最終日17時までに必着とし、表に「大学院入学手続書類在中」と朱書きした封筒に必要な書類を入れ、以下の入学手続書類提出先に「書留速達郵便」で送付してください。

持参する場合の入学手続の受付時間は、9時から17時までとし、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けません。

② 入学手続書類提出先

4. 出願手続(3)に記載の「書類提出先」へ提出してください。

(2) 納付金

① 納付金(入学料・授業料)の額

入学料	282,000円
授業料(前期)	267,900円
(後期)	267,900円

(注) 金額は2022年4月現在のもので、入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。納付金の額及び納付の方法については、入学手続書類送付時に同封しお知らせします。

② 既納の入学料は、どのような理由があってもお返しできません。

③ 入学料・授業料の納入が著しく困難な方には、免除制度及び徴収猶予制度がありますので、希望される方は、入学手続書類送付時に同封される入学料免除・授業料免除等に関する書類をよく読んで、願い出てください。

④ 長期にわたる教育課程の履修について

職業を有する社会人で修業年限(2年)を超えて、一定の期間にわたり計画的に履修することが認められた方に対して、年間の授業料の負担が軽減される制度があります(「10. その他(1)」参照)。希望される方は、入学手続期間に所定の様式により申し出てください。

(3) 手続に当たっての注意事項

- ① 入学手続書類を受領したら、なるべく早く入学手続を行ってください。
- ② 入学手続締切日までに入学手続を完了しない方は、本学への入学を辞退したものと取り扱います。
- ③ 合格者が本学の定める入学資格を満たさなかった場合は、入学できません。

8. 障害等のある方の事前相談

この募集要項により本研究科に入学を志願する方で、障害（別表参照）等のために受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、下記の提出期限までに事前相談申込書を提出してください。

なお、重度の障害のある方は、できる限り早い時期に相談してください。

事前相談がない場合には、入学後の配慮がすぐに行えない場合がありますので、修学上の配慮が必要な方は必ず事前相談を行ってください。

※ 事前相談申込書は、本学のホームページ（入試情報ポータル／障害等のある方の事前相談）からダウンロードいただけます。

(https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/consultation/index.html)

ダウンロードできない場合は、(3) 事前相談申込書の提出先・連絡先へお問い合わせください。

※ 日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの調整が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。

事前相談は、障害等のある志願者との対話を通じて、本学の現状において社会的障壁となり得る部分について検討し、受験及び修学にあたってより良い方法やあり方を実現するためのものです。障害等を理由に、受験や修学が制限されることはありません。

(1) 提出期限

出願受付開始日の2週間前まで。

(2) 提出書類

- ① 本学所定の事前相談申込書
- ② 病気・負傷や障害等の状況がわかる医師の診断書(コピーでも可)又は障害者手帳のコピー

※ 上記書類は、配慮内容を決定する上で必要となりますので、必ずご提出ください。

※ 必要に応じて、志願者または関係者等との面談を行う場合があります。

(3) 事前相談申込書の提出先・連絡先

4. 出願手続(3)に記載の「書類提出先」へ提出してください。

(4) 提出期限後の不慮の事故等による場合の配慮

不慮の事故等により配慮が必要となった場合等については、提出期限を過ぎてからも

相談を受け付けますが、相談の内容によっては対応できないことがあります。

〈別表〉

区分	障害の程度
視覚障害	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
発達障害	自閉スペクトラム症（自閉性障害・アスペルガー障害・広汎性発達障害）、限局性学習症（学習障害）、注意欠如多動性症（注意欠陥多動性障害）のため配慮を必要とするもの
病弱	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
その他	上記以外で、受験上及び修学上配慮を必要とする程度のもの

（参考：学校教育法施行令第 22 条の 3、発達障害者支援法第 2 条、大学入学共通テスト受験案内）

9. 入試情報の開示

本選抜に係る入試情報を次のとおり開示します。

（1）志願者数、受験者数、合格者数、入学者数

① 開示方法：ホームページ（下記 URL 参照）

（<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/humanitiesandsocialsciences/admission/>）

② 開示時期：2023 年 4 月以降

（2）個人情報（試験成績）：総合点

① 開示方法：開示請求による郵送を原則とします。

② 請求者：原則として受験者本人とします。

③ 請求方法

「入試情報開示請求書」に所要事項を記入し、下記の開示請求先に郵送してください。

なお、「入試情報開示請求書」は、本研究科のホームページからダウンロードしてください。

（<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/humanitiesandsocialsciences/admission/>）

※ 受験者本人であることを確認するとともに、受験番号を照合するため、本学の受験票を必ず添付してください。

※ 試験成績の郵送を希望する場合は、返信用封筒（長形 3 号（120mm×235mm））に郵便番号、住所、氏名を明記し、簡易書留料金を含む 404 円分の切手を貼ったものを同封して下さい。

- ④ 受付期間：2023年5月8日（月）～5月29日（月）（消印有効）
- ⑤ 開示時期：受け付け次第順次
- ⑥ 開示請求先：4. 出願手続（3）に記載の「書類提出先」へ提出してください。

10. その他

（1）社会人学生の学修について

- ① 本研究科は、大学院設置基準第14条（「修士課程においては、教育上特別の必要がある場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」）による教育を実施しています。社会人学生は、授業の開講時間や履修方法等について相談しながら、学修を進めます。心理学分野（長野（教育）キャンパス）臨床心理学コースへの出願を考えている方は、下記③をご確認ください。
- ② 職業を有している等の事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望した場合は、長期にわたる教育課程の履修を認めることができます。希望がある場合は、入学手続時に申請を行い、4年を限度に許可します。
- ③ 心理学分野（長野（教育）キャンパス）臨床心理学コースは、資格取得のために540時間以上の実習を行うため、在職しながら学修することは困難です。2年間大学院での学修に専念できる状況を整えてから入学するよう、ご準備ください。
- ④ 社会人で出願を考えている方、あるいは組織において社員や職員の派遣を検討されている場合等、お気軽にお問い合わせください。

社会人が在職のまま大学院に入学する場合、様々なケースが考えられます。修学方法（特に勤務と通学の時間的調整を必要とするとき）、その他就学補助制度など、事項は問いません。

（2）出願等に関するお問い合わせは「4. 出願手続（3）」を参照してください。

なお、受験に際して体調等に不安がある場合は、早めにご相談ください。

（3）新型コロナウイルス感染症の影響により本要項の記載内容を変更せざるを得ない状況となった場合は、本学のホームページでお知らせしますので、必ず最新の情報を確認してください。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/humanitiesandsocialsciences/admission/>